

元日

夏目漱石

青空文庫

元日を御目出たいものと極めたのは、一体何処の誰か知らないが、世間が夫れに雷同して、いるうちは新聞社が困る丈である。雑録でも短篇でも小説でも乃至は俳句漢詩和歌でも、苟くも元日の紙上にあらわれる以上は、いくら元日らしい顔をしたって、元日の作でないに極つている。尤も師走に想像を逞しくしてはならぬと申し渡された次第でないから、節季に正月らしい振をして何か書いて置けば、年内に餅を搗いといて、一夜明けるや否や雑煮として頬張る位のものには違ないが、御目出たい实景の乏しい今日、御目出たい想像などは容易に新聞社の頭に宿るものではない。それを無理に御目出たがろうとすると、所々ゆるたいそう 謂 太倉の粟陳々 相 依 るという頗る目出度ない現象に腐化して仕舞う。

諸君子は己を得ず年にちなんで、鶏の事を書いたり、犬の事を書いたりするが、これは寧ろ駄洒落を引き延ばした位のもので、要するに元日及び新年の實質とは痛痒相冒す所なき閑事業である。いくら初刷だつて、そんな無駄話で十頁も二十頁も埋られた日には、元日の新聞は単に重量に於て各社ともに競争する訳になるんだから、其の出来不出来に対する具眼の審判者は、読者のうちでただ屑屋丈だろうと云われたって仕方がない。

さればと云つて、既に何十頁と事が極つてる上に、頭数を揃える方が便利だと云う訳で

あつて見れば、たとい具眼者が屑屋だろうが経師屋だろうが相手を扱んで筆を執るなんて贅沢ぜいたくの云われた家業かぎようじゃない。去年は「元旦」と見出を置いて一寸考ちよつとえた。何も浮うかんで来なかつたので、一昨年とうぼくの元日の事を書いた。一昨年とうぼくの元日に虚子が年始うたいに来たから、東北とうほくと云う謡うたいをうたつたところ、虚子が鼓を打ち出したので、余の謡うたいが大崩おおくずれになつたという一段を編へん輯しゅうへ廻まわした。実は本当の元日なら、余の謡はもつと上手になつてゐるから、其の上手になつた所ありを儘ままに告白かくしたかつたのだが、如何いかんせん、筆を執とつてゐる時は、元日にまだ間まがあつたし、且かつ虚子が年始うたいに見えなくとも見えないとも極きまつていなくなつた上に、謡をうたう事も全然未定むじやうだつたので、営業上やうぎやうじやう已むを得ず一年前の極きわめて告白かくし難い所を告白したのである。此の順で行くと此年は又去年の元日を読者に御覽ごらんに入れなければならん訳であるが、そうそう過去のまづい所ばかり吹聴ふいちやうするのは、如何いかにも現在の己おのれに対して侮辱おとしを加えるようなで済まない気がするから故意わざと略りやくした。それで猶なほのこと塞つかえた。

元日新聞へ載のせるものには、どうも斯こう云う困難くわんなんが附帯ふたいていして弱る。現に今原稿紙に向つてゐるのは、実を云うと十二月二十三日である。家うちでは餅もちもまだ搗つかない。町内で松飾りを立てたものは一軒もない。机すわの前に坐すわりながら何を書こうかと考えると、書く事の困難

以外に何だか自分一人御先走おさきばしつてる様な気がする。それにも拘かからず、書いてる事が何処どことなく屠蘇とその香かを帯びているのは、正月を迎える想像力が豊富なためではない。何でも接つぎ合わせて物にしなればならない義務を心得た文学者だからである。もし世間が元日に對する僻見へきけんを撤回して、吉凶禍福きつきよかふく共にこもこも起り得べき、平凡且乱雜かつなる一日と見做みなして呉くれる様になつたら、余も亦余所行またよそゆきの色気を抜いて平常の心に立ち返る事が出来るから、たとい書く事に酔払いの調子が失せないにしても、もつと楽に片付けられるだろうと思う。尤もそうなれば、初刷の頁も平常に復する訳だから、とくに元日に限つて書かねばならぬ必要も消滅するかも知れない。それも物淋ものさびしい様だが、昨今の如き元日に對して調子を合せた文章を書こうとするのは、丁度ちやうど文部大臣が新しい材料のないのに拘かからず、あらゆる卒業式に臨んで祝詞を読むと一般である。

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚版 夏目漱石全集 10」筑摩書房

1972（昭和47）年1月10日第1刷発行

初出：「朝日新聞」

1910（明治43）年1月1日

入力：Nana ohbe

校正：米田進

2002年5月10日作成

2003年5月11日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

元日

夏目漱石

2020年 7月17日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>